

● Infomation ● イベントカレンダー

練馬みどりの機構 イベント情報

白子川沿いの緑を歩くウォークラリー

市民が中心になって練馬の緑を守り増やしていくことを目指して設立された「練馬みどりの機構」の設立記念に「葉っぱいまつり」を3月31日と4月1日に行います。そのお祭りの一環として、白子川沿いの緑地をつなぐウォークラリーを行います。皆さんの参加をお待ちしています。

日 時：平成18年4月1日(土) 午前8時50分～午前11時
集 合：八の釜憩いの森(びくに公園管理事務所前)
コース：八の釜憩いの森～清水山憩いの森までの約2.5kmを歩きます。
持ち物：歩きやすい服装・靴等、帽子、雨具等、持病薬、飲料水、軽食等、タオル等
参加費：300円(保険代、資料代)
問合せ：03-3938-2584(八の釜憩いの森を守り育てる会/北村)

エコシティ志木 イベント情報

こどもとおとなの自然塾(1)「春の野草を見てみよう」

日 時：平成18年4月23日(日) 午前9時～午前11時30分
内 容：春の野草を見ながら柳瀬川沿いを歩きます。

こどもとおとなの自然塾の様子、今号にも紹介していますよ～!



こどもとおとなの自然塾(2)「ツバメの子育てを見てみよう」

日 時：平成18年5月20日(日) 午前9時～午前11時30分
内 容：べあもーる街や柳瀬川駅でツバメの子育てを観察します。

以下、こどもとおとなの自然塾(1)(2)共通事項です。
集 合：東武東上線「柳瀬川駅」前サミット前広場
参加費：200円(会員100円、中学生以下は無料)※家族は全員参加でも1名扱い
主 催：エコシティ志木、財団法人埼玉県生態系保護協会 志木支部
後 援：志木市教育サービスセンター
問合せ：048-471-2211(志木市立教育サービスセンター)

エコシティ志木 関連行事

2年連続で発表してくれた志木小学校の皆さんの環境学習のフィールドですね!

志木小学校「屋上ビオトープ見学会」

日 時：平成17年5月1日(月) 午後1時～午後2時
集 合：志木小学校2F正門前(志木市本町1-10-1)
主 催：財団法人埼玉県生態系保護協会 志木支部
問合せ：048-473-4909(山崎) ※雨天中止



事務局便り

2月末に実施した「第2回 川でつながる発表会」は、晴天にも恵まれ、実に100人を越える方々にご参加いただきました。余り大きな会場が押さえられなかったこともあって、会の途中で椅子や机を運び足す場面も見られましたが、嫌な顔ひとつしなかつた参加者の皆さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。この先も、第3回、第4回と「川でつながる発表会」を実施し、ますます流域の皆さんと「川でつながっていけたら..」と思います。

●連絡先
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
TEL: 03-3902-3220 FAX: 03-3902-2346
URL: <http://www.ara.or.jp/arage/shingashi/>
E-mail: shingashi@ara.or.jp

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



VOL.39

発行 ● 新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 調査課内)
住所 ● 東京都北区志茂5-41-1 TEL: 03-3902-3220 FAX: 03-3902-2346
発行日 ● 2006年(平成18年)3月16日



切り絵 毛利得純

まもなく4月ですね! 三寒四温とはよく言ったもので、寒い日をひとつ過ぎやる度に確実に暖かさが増してくるようです。そして、本格的に春が来てサクラの花が咲く頃になると、新河岸川流域各支川の川づくりの会のイベントも花盛りになります。黒目川では4月上旬に、今年で2年目になる「川まつり～春～2006」が、空堀川では5月下旬に、今年からリレーフェスティバルに仲間入りすることになった「空堀川・川まつり」が予定されています。本紙「里川」ではこの春も、新河岸川流域内の楽しいイベントを中心に、川づくりに関する連絡事項や様々な情報を、春らしく「満開・花盛り」で掲載していこうと思います!

目次

- P2-3 第8回 川づくり見学会
～中川・綾瀬川流域、江戸川の川づくり～
- P4-5 第2回 川でつながる発表会
～小学生から大学生まで、川・水に関する発表をして交流～
- P6-7 レポート: 柳瀬川流域水循環市民懇談会
こどもとおとなの自然塾 ほか
- P8 流域イベント・インフォメーション
事務局便り

第8回 川づくり見学会 ～他の流域の川づくりも見てみよう(ver.1)～

中川・綾瀬川流域、江戸川の川づくり

中川・綾瀬川流域は、低平地に多くの中小河川が流下し、地形的な影響から各河川の流下能力が極度に低く、過去幾度となく大きな水害に見舞われたことから、新河岸川流域同様、総合治水対策を実施すべき流域に指定されています。現状での治水対策としては、河川改修事業や調節池の整備の他、世界最大級の治水施設「首都圏外郭放水路」等の施設が整備されつつあります。

また、急激な都市化、都市基盤整備の遅れ等から、綾瀬川は一級河川の水質ワースト1を15年連続で記録する等、河川環境の保全、とりわけ水質改善が早急に取り組むべき課題となっていますが、近年、流域住民の参加による清流ルネッサンスⅡが策定され、これに基づく各種の活動や浄化施設の整備等、ソフトとハード両面からの対策により、徐々にではありますが、水質も改善される等の成果が見られつつあります。さらに、綾瀬川再生整備計画や綾瀬川リバーサイドタウン整備構想等が策定され、水辺を地域のシンボルに位置づけたまちづくりへの積極的な活用等も行われています。

今回の見学会では、こうした流域外における治水対策、環境対策、水辺のまちづくり等を見学し、新河岸川流域の川づくり活動の参考となることを期待して実施したものです。

参加者からの意見・感想など..!

右の写真は当日の参加者の皆さんです！
龍ヶ崎の前で記念に撮影しました！



- ・他の河川流域の見学もなかなか参考になります。今日は風が強く、とても寒かったので説明を聞くゆとりがなかった点が残念でした。
- ・今現在の自分達が関わっている川の問題点に関連する川や施設の見学は、やはり興味を引きました。もっと多くの仲間をつれてこられればよかったと思いました。
- ・ピオトープとか川づくりの現場については、植物の枯れた頃ではなく、春から秋の頃にまた見てみたいと思いました。
- ・首都圏外郭放水路は実際に地下に降りてみたかったです。
- ・高低差のない地形、そして、空堀川や柳瀬川と同様に定まった源流をもたない川、どちらも治水・水質保全に大変な苦勞と知恵のいることを感じました。また、どの川も「親水空間」となっていることが、川に関わっている皆様に接して判断できました。
- ・強風でなければ晴天に恵まれた素晴らしい見学会になったと思います。「ふれあい松戸川」では生まれだされた自然の川の流れに、昔を思い出しました。川を清流にして行くことは大変ですが、環境を考えると、やはり水質浄化を進めていただきたいと思いました。
- ・初めて参加させていただきました。大変参考になりました。地元の空堀川の川づくり活動に話かしたいと思います。ありがとうございました。 など

以下の5箇所を見学しました！（括弧内は発着時間）

綾瀬川・芝川等浄化導水事業

水質の悪化に対応するため、荒川の水を埼玉高速鉄道に併設した水路で導水し、綾瀬川と芝川に放流する事業です。
当日は綾瀬川放流口を見学、荒川下流河川事務所の事業担当者に施設の説明をしていただきました。参加者は皆、熱心に聞き入っていました。
(赤羽駅9:00発 → 綾瀬川放流口9:40着)



浄化導水事業の説明を聞く参加者の皆さんです。



これが綾瀬川放流口です。

綾瀬川（旧日光街道松並木）

草加市内を流れる綾瀬川を見学しました。川沿いの遊歩道は旧国道4号「日光街道」を意識した松並木が整備されており、百代橋は時代風のデザインが施されていました。橋の上では参加者の大半が記念撮影をしていました。
(綾瀬川放流口10:00発 → 旧日光街道10:40着)



時代風のデザインが施された橋の上でハイポーズ。



こちらでは人工のラグーンをつくっています。

足立区立桑袋ピオトープ公園

綾瀬川・伝右川合流点に整備された足立区立桑袋ピオトープ公園を見学しました。初めに公園内にあるあやせ川清流館で、綾瀬川清流ルネッサンス等の説明を聞きました。その後は外に出て浄化施設と園内を見学しました。
(旧日光街道11:10発 → ピオトープ公園11:30着)



あやせ川清流館で館長さんからお話を聞きました。



あまりの寒さに水鳥の姿もあまり見えませんでした。

流水保全水路（ふれあい松戸川）

江戸川から取水する水を安全で良好な水質にするため、汚れのひどい坂川を浄水して浄水場をバイパスさせて下流へ流すとともに自然の流れを再現して生態系保全を目指した流水保全水路を見学しました。ここでは、江戸川河川事務所の事業担当者に説明していただきました。
(ピオトープ公園12:25発 → 松戸川13:00着)



浄化水槽について実物を見ながら説明を聞きました。



こちらが流水保全水路になります。

首都圏外郭放水路

世界最大級の地下河川で、国道16号の地下約50mに建設される延長6.3kmの地下放水路（調整水槽）の紹介をしているインフォメーション施設（龍Q館）を見学しました。ここでは、模型やパネルを用いた施設の説明を聞きました。
(松戸川14:00発 → 首都圏外郭放水路15:10着)



模型やパネルを使った説明を聞きました。



インフォメーションコーナーにあった位置図です

第2回 川でつながる発表会

「川でつながる発表会」は、流域内の小学校、中学校、高校、大学が普段行っている川や水、環境を対象にした様々な学習・研究及びボランティア活動等の成果を発表することで、児童、生徒、学生や発表会を聴取しに来る流域住民の間で交流が生まれるきっかけになるとともに、子供たちをはじめとした流域住民の川への関心が高まるきっかけづくりに資することを目的に開催するものです。今回はその第2回目になります。



大・高

去る2月25日(土)に「第2回 川でつながる発表会」を開催しました。今回は小学校3校に、中学校(一貫校の中等部含む)、高校・大学がそれぞれ各2校の計9校から、日頃の川や水、環境に関する調査・研究の成果やその内容等について発表していただきました。



こちらの写真は、上から、所沢西高校、富士見高校、東京理科大学、法政大学の皆さんの発表または質疑応答の様子になります！

川・水・環境等について色々とお話できたかな？
何だかみんな楽しそうだね！



交流
講演



こちらの写真は、左上から、川崎市立福原小学校、清瀬市立清瀬第四小学校、下中央の志木市立志木小学校の発表の様子になります！



父兄の皆さんには「お待たせしました！」の小学生の発表です。川崎市立福原小学校は「不老川のプロフィール」について、清瀬市立清瀬第四小学校は「空堀川のみみつ」について、そしておとりの志木市立志木小学校は「柳瀬川の水質および柳瀬川と新河岸川の水環境の比較」について、それぞれ発表してくれました。



出前水族館は今年も大人気だったねっ！



休憩時には大学生と中学生、引率の先生同士等の交流も見られました。そして最後は柳瀬川流域ネットワーク世話人の宮本善和さんに「川とつながる、川でつながる、流域とつながる、海とつながる」をテーマに今回の講評を兼ねた基調講演をお話いただきました。



中

第1回目とは打って代わって、今回は大学生からの発表です。まずは昨年、白子川の市民参加の川づくりについて発表してくれた東京理科大学の皆さんが、今回は「隆起の湧水や緑地を活かした越戸川づくりについて」というテーマで発表してくれました。次に、こちらと同じ白子川絡み、白子川の源流まつりにおいて研究成果をパネル展示したことがきっかけで、今回の参加となった法政大学の皆さんより「都市化域における水環境の保全・共生・再生に関する地理学的研究～新河岸川流域を中心に～」をテーマに発表してもらいました。

質疑を経て、次は高校生の発表です。高校生は今回で2回目となる埼玉県立所沢西高等学校の皆さんと、今回の参加校中唯一、一人で頑張ってくれた、埼玉県立富士見高等学校の生徒さんが発表してくれました。テーマは順に「所沢市三ヶ島地域の井戸から見た地下水」、「学校周辺を調べてみたら舟運関係」でした。

中学校では、平成16年度のフォーラム時に発表してくれた東村山市立第三中学校が「川にしたしむ(黒目川を中心に)」をテーマに、また、前回は諸般の事情で参加いただけなかった明法中学・高等学校が「新河岸川水系水質調査に参加して」をテーマに、それぞれ発表してくれました。

出前水族館を展示してくれたエコシティ志木の会員の方から感想が届きました！

新河岸川流域「第2回川でつながる発表会」に、柳瀬川・出前水族館を出展して欲しいとの依頼があり、久しぶりに魚捕りに行ってきました。当日は気温も温かく天気もよかったですので、久々の魚捕りも快適でした。

発表会での出前水族館はとても人気がありました。展示パネルだけよりも、実際の生き物がいた方が、川に親しみも湧きます。学校の生徒さんたちの発表は、どれもとても詳しく調べていて、川への関心の高さが年々上がってきていることを強く感じました。

また、基調講演「川とつながる、川でつながる、流域とつながる、海とつながる」で、柳瀬川流域ネットワーク世話人 宮本善和さんがお話されていた、「流域住所」という考え方はとても印象的でした。「流域住所」とは、自分が住んでいる所を川で考える方法だそうで、私の場合は「埼玉県富士見市鶴瀬東」在住なので、日本列島>東京湾流域>荒川流域>新河岸川流域>富士見江川流域>榎平川上流部>左岸 となります。こうして考えると、川から海までのつながりがイメージし易くなりますね。

東京湾流域人口 約2,400万人中、新河岸川流域人口は約240万人いるそうです。そのため、東京湾への環境負荷の約10%は、新河岸川流域の人々に責任があるということになります。

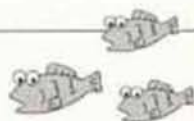


エコシティ志木と黒目川に親しむ会の皆さん！魚取りありがとうございました！



こちらの写真は、上から、東村山市立第三中学校、明法中学・高等学校の皆さんの発表の様子になります！

柳 瀬川流域水循環市民懇談会



去る1月19日(木)に「柳瀬川流域水循環市民懇談会」の第一回会合が開かれました。昨年3月に策定された「柳瀬川流域水循環マスタープラン」においては、「検討会」「行政間調整会議」「市民懇談会」を組織し、市民・学識経験者・行政が一体となり幅広い意見を取り入れながらプランづくりをしたという経緯があります。今回は、同マスタープランを推進するための具体的なアクションプランなどについて、これまでと同様に「市民懇談会」を立ち上げ、行政からなる「推進協議会」に対して、様々な意見やアイデアなどを提案していくこととしています。

当日は新たなメンバーでスタートする第一回目ということもあって、「柳瀬川流域水循環マスタープラン」の説明や「市民懇談会」の目的の確認、「アクションプラン」の策定とその後の流れ、等について、事務局から話があった後、意見交換および「推進協議会」への代表参加者選出を行いました。

「推進協議会」への代表参加者とは、「市民懇談会」で集約された意見やアイデアを「推進協議会」にて提案し議論する、市民懇談会の代表者になります。志木市から2名、所沢市から3名、東村山市と東大和市から各1名の合計7名の方が立候補し、当日の参加者の同意のもと代表者に選出されました。

事務局は、「2030年の望ましい流域像を目指して、粘り強く意見を交換して、より良い水循環を目指しましょう」と結んでいました。



アドバイザーとして参加する松下先生から会の終盤に挨拶がありました。

座 談会「湧水保全・私たちに何ができるか？」

去る2月26日(日)に和光市は白子コミュニティセンターにて「湧水保全・私たちに何ができるか？」と言うテーマでの座談会が開かれました。

メンバーは白子川流域の水環境を良くする会を中心に八の釜憩いの森を守り育てる会の北村さんから総勢14人。ゲストに練馬区公園緑地課花とみどりの相談所 所長 木谷勝さん、湧水や緑地保全を働きかけてきた諸先輩として、清水山憩いの森保全(前、清水山のカタクリを守る会)の寺島さんと西田さん、新座の自然とくらしを守る会の石井さんと初見さんをお招きして、湧水保全に向けて私達に何ができるのかについて話し合いました。

初めに清水山憩いの森保全の寺島さんから、清水山のカタクリとの出会いから今に至るまでの経緯をうかがい、次に、新座の自然とくらしを守る会の初見さんから、妙音沢湧水および斜面林の保全における苦労話などを伺いました。どちらも緑地保全に対する並々ならぬ思いが伝わる熱のこもったお話しで、参加者は皆、真剣に聞き入っていました。最後にゲストの木谷さんに「憩いの森制度」の経緯等についてお話しいただいた後、皆で意見を交換しました。

今回の座談会では、行政と市民の連携の大切さを実感された人が多かったように思います。



白子コミュニティセンターに集合した座談会のメンバーです。写真奥は花とみどりの相談所の木谷さんです。

冬鳥観察イベント(×2)に行ってきました！

子どもとおとなの自然塾「冬の渡り鳥を見てみよう」

NPO法人エコシティ志木と財団法人埼玉県生態系保護協会志木支部の主催で行われている「子どもとおとなの自然塾」では、2月4日(土)に柳瀬川の冬鳥を観察するイベント「冬の渡り鳥を見てみよう」が実施されました。

参加者は10時に東武東上線「柳瀬川駅」に集合、主催者からの簡単な説明の後、10時10分過ぎには柳瀬川へ向けて歩き出しました。冬鳥観察会のスタートです。コースは柳瀬川の右岸を下流へ向かう、東上線の高架付近から高橋下流付近までの約1kmです。

鳥を見つけるとその都度観察を開始、案内役の山崎さん(主催の双方に所属)が用意した鳥の写真とともに観察中の鳥の特徴や見分け方などを伝えてくれました。途中、エコシティ志木代表の天田さんから柳瀬川の成り立ちや治水の歴史の話、埼玉県生態系保護協会の武藤さんからは河川敷での生態系保護活動などの話がありました。草刈り時は川の中でも常に水の流れているところ(滞すじ)ギリギリのところの草を少し残すように働きかけているそうです。草を全部刈り取らないことで、オオヨシキリの果を守ったり、鳥たちの隠れる場所を残しているのだそうです。

最後に観察できた野鳥の種類を参加者全員で確認しました。22種の野鳥が確認できました。



東上線高架付近ではイカルチドリを発見観察しました。



山崎さんが鳥の特徴や見分け方などを伝えてくれました。



ヒドリガモの糞、水際に残された草が分りますか？



柳瀬川の成り立ちを話すエコシティ志木の天田さん。

石井緑地公園「どんぐり山」の自然体験&柳瀬川の冬鳥観察

翌5日(日)には、ふじみ環境クラブと水谷公民館の主催で「石井緑地公園の自然体験&柳瀬川の冬鳥観察」が実施されました。まずは、石井緑地公園(通称 どんぐり山)で山歩き、いわゆる「落ち葉かき」をした後、柳瀬川へと向かいました。本日の案内役は埼玉県生態系保護協会 富士見支部の須藤さんです。

コースは水谷田んぼから柳瀬川へ向かい、富士見大橋から志木大橋までの右岸を経て、針ヶ谷小学校の調節池まで。今回は拡聴器も持参していたので、参加者は鳥の鳴き声にも耳をすませながら歩きました。珍しい野鳥ではアメリカヒドリが観察できました。埼玉県で7羽だけ確認されている内の一羽だそうです。またツバメも確認できました。これまでの2月18日の記録を更新する早い飛来とのことでした。全部で30種が野鳥が確認できました。



まずは「どんぐり山」での山歩きです。



水谷田んぼのあぜ道を歩く参加者の皆さんです。



ヒドリの群れに一羽アメリカヒドリがまぎれていました。



空気の澄んだ冬の柳瀬川です。極寒の晴れ空でした。